

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月16日

茨城県知事 殿



提出者
住 所 茨城県笠間市安居 2600-8
氏 名 不二製油株式会社関東工場
工場長 蓮尾 和博
電話番号 0299-45-8600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	不二製油株式会社関東工場
事業場の所在地	茨城県笠間市安居 2600-8
事業の種類	食料品製造業（09）
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	12,701t	全処理委託量	1,192t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	223t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	1,192t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	11,509t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	146t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

汚泥

)

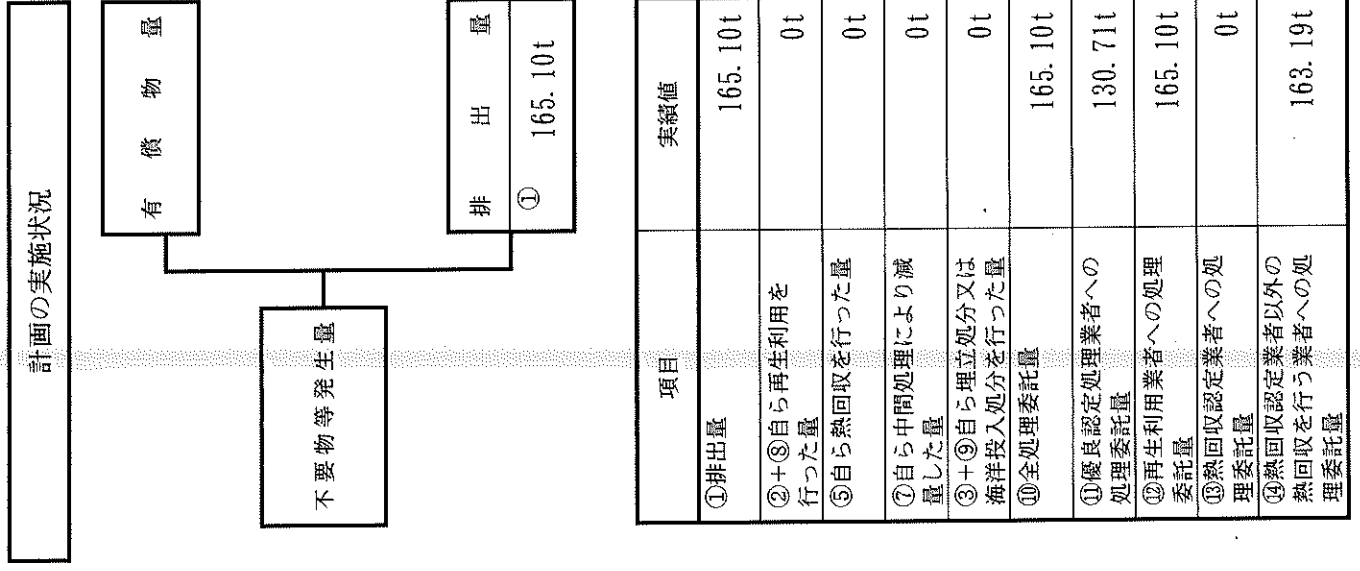
有償物量

不要物等発生量

排出量
① 11,423.23t自ら直接埋立処分した量
② 0t自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ 0t自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧ 0t自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨ 0t自ら中間処理した
後の残量
⑥ 852.48t自ら中間処理
した量
④ 11,423.23t自ら中間処理によ
り減量した量
⑦ 10,570.75t④のうち熱回収
を行った量
⑤ 0t直接及び自ら
中間処理した後の
委託量
⑩ 852.48t⑩のうち優良認定
業者への処
理委託量
⑪ 6.34t⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫ 852.48t⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ 0t⑩のうち熱回収認定
業者以外
の熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭ 0t

項目	実績値
①排出量	11,423.23t
②+③自ら再生利用を 行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減 量した量	10,570.75t
③+④自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	852.48t
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	6.34t
⑫再生利用業者への処理 委託量	852.48t
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0t

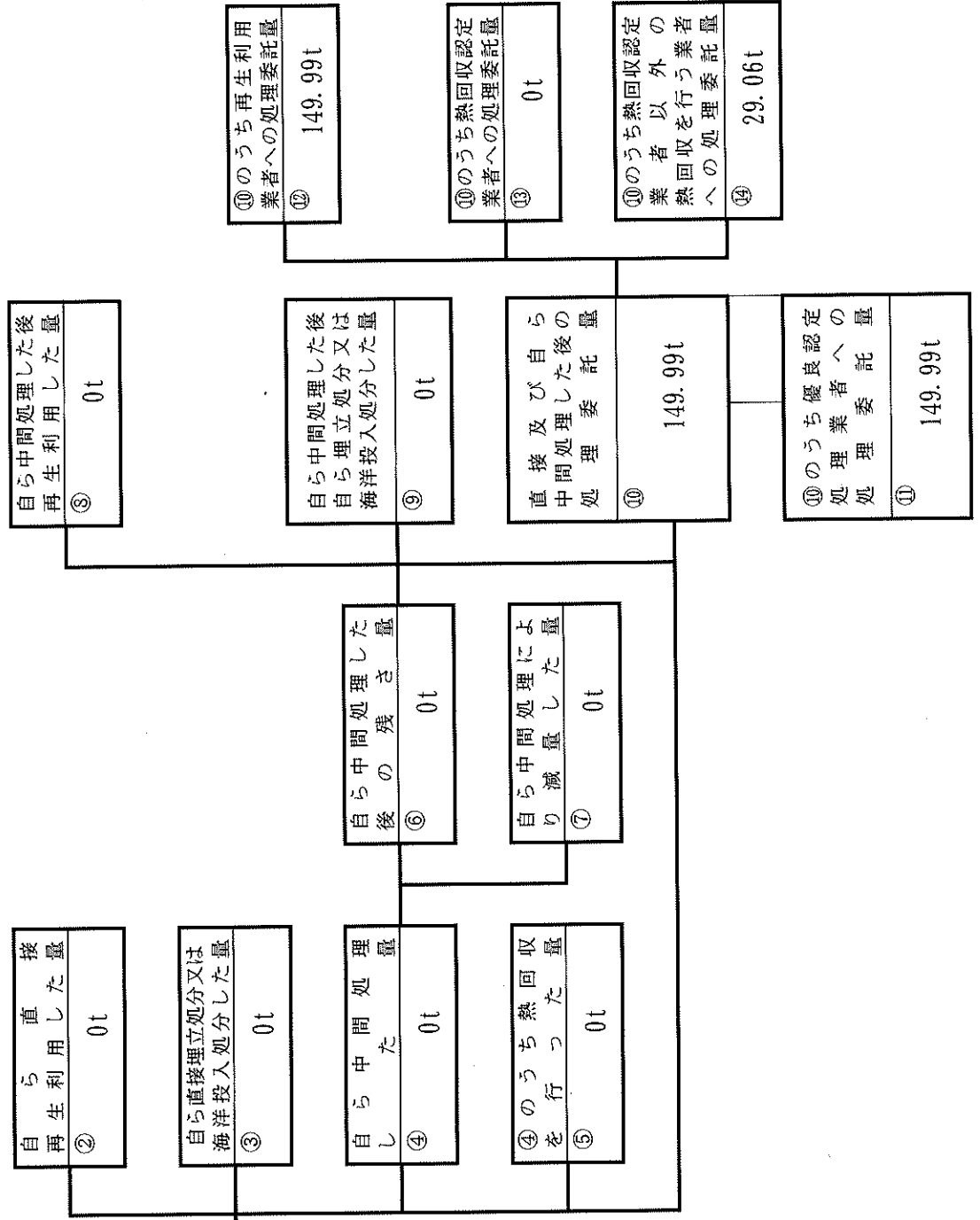
(産業廃棄物の種類： 廃プラ)



(産業廃棄物の種類： 動植物性残渣)

計画の実施状況

有 償 物 量	
不要物等発生量	
排出量	① 149.99t
実績値	
①排出量	149.99t
②+④自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	149.99t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	149.99t
⑫再生利用業者への処理委託量	149.99t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	29.06t

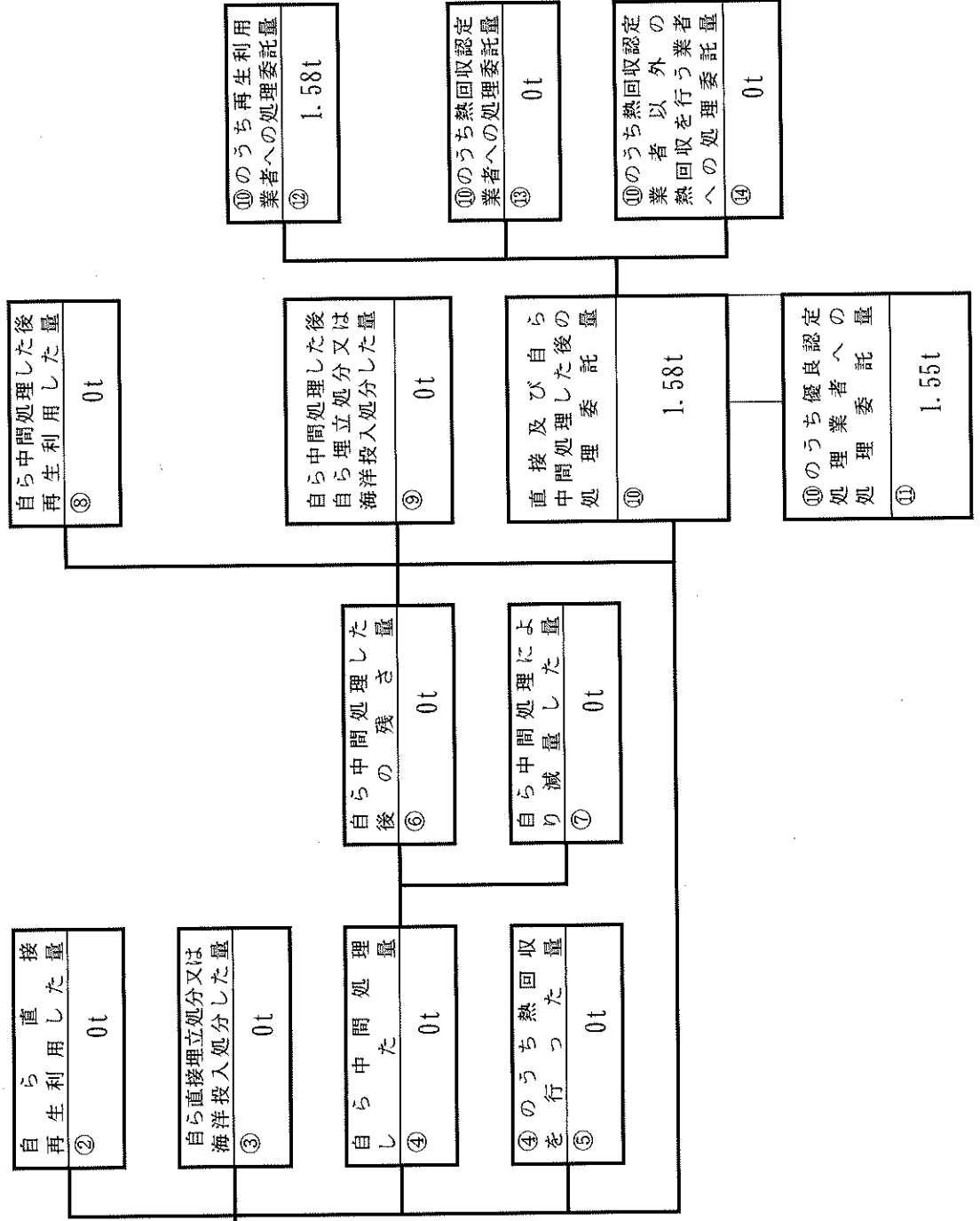


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：)

廃油

有償物量	
不要物等発生量	
排出量	① 1.58t
実績値	
①排出量	1.58t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	1.58t
①優良認定処理業者への処理委託量	1.55t
②再生利用業者への処理委託量	1.58t
③熱回収認定業者への処理委託量	0t
④熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

有償物量

不要物等死生量

① 0.01t

② 自 再生 利用 した 量 接

③	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	0t
---	-------------------------	----

項目	実績値
①排出量	0.01t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0.01t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.01t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.01t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

⑥	0t	自後 中間処理した量の残
---	----	--------------

⑦	自ら中間処理により減量した量	0t
---	----------------	----

④のうちに熱回収を行ったを	⑤	0t
---------------	---	----

⑤ 再生利用した量
10t

⑨ 0t

直 中 間 接 及 び 自 ら 処 理 委 託 後 の 量	⑩ 0.01t
----------------------------------	------------

⑩のうち優良認定の処理業者への委託量	0.01t
⑪	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑪ 0.01t
-------------------	------------

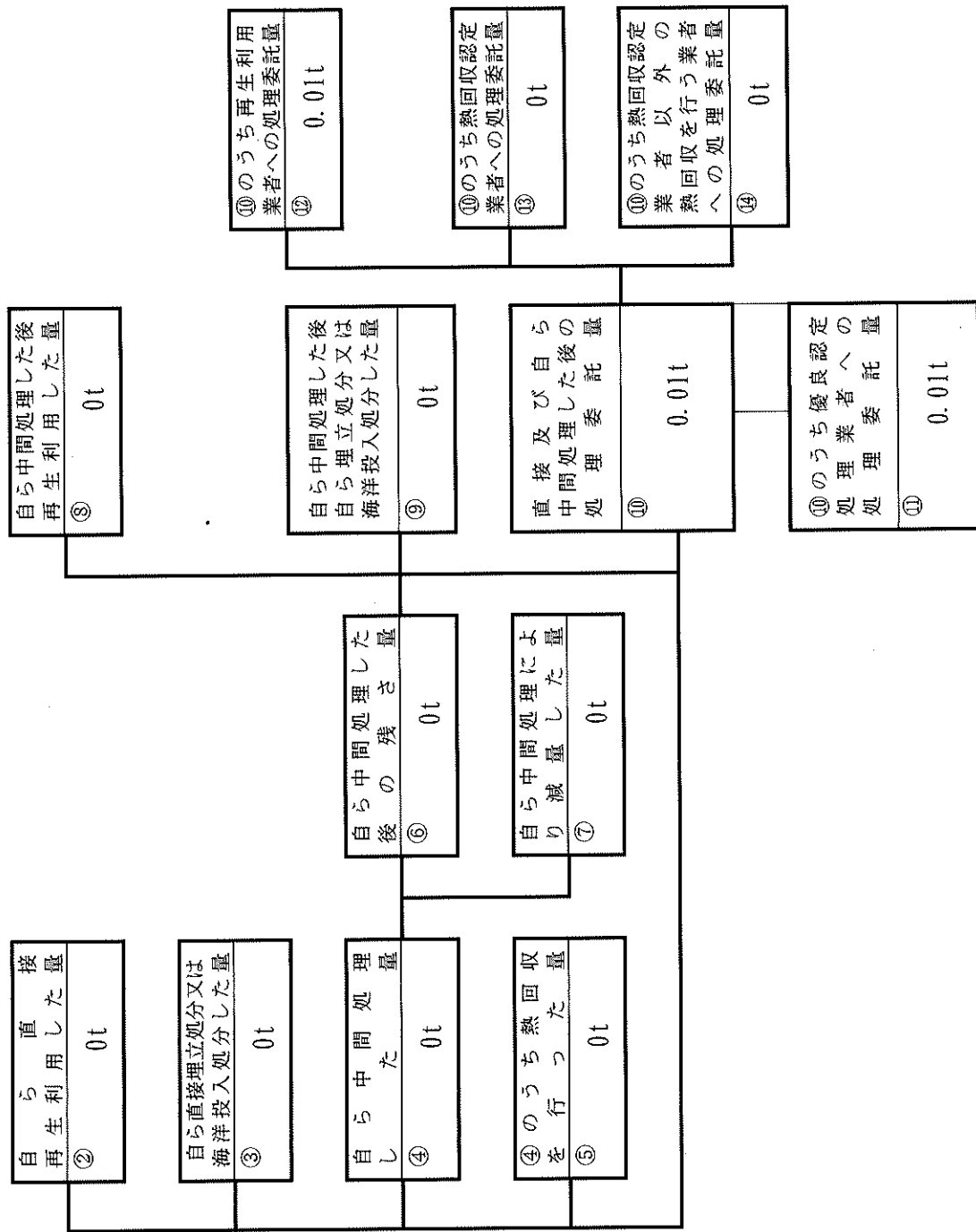
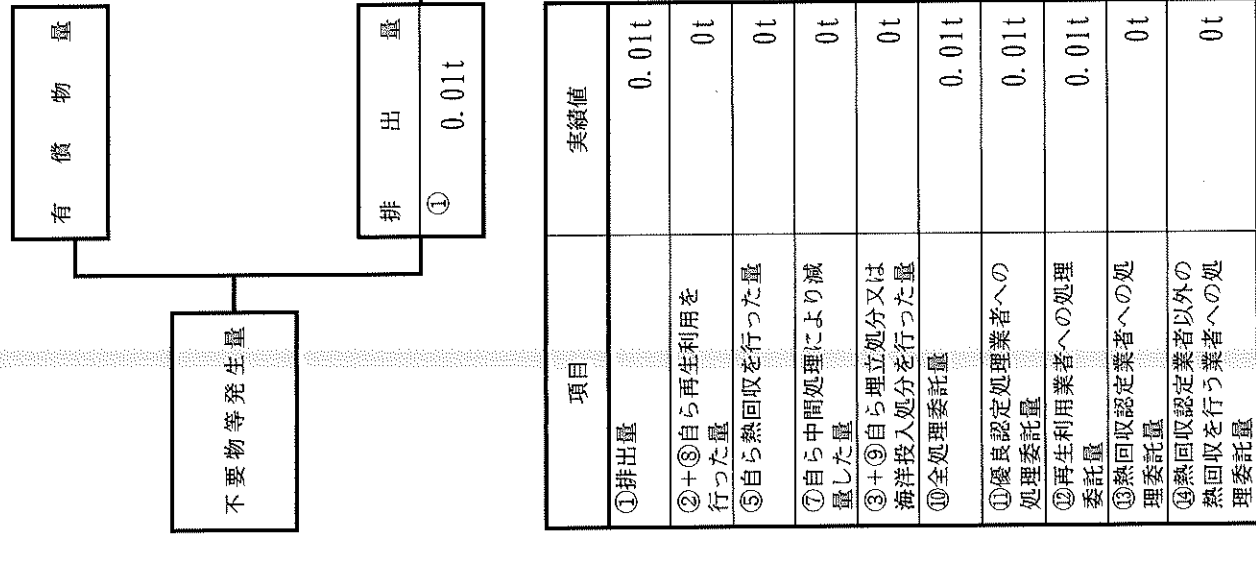
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭のうち熱回収認定業者以外 の業者による熱回収の処理委託量	0t
----------------------------------	----

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

ガラス・陶磁器屑)



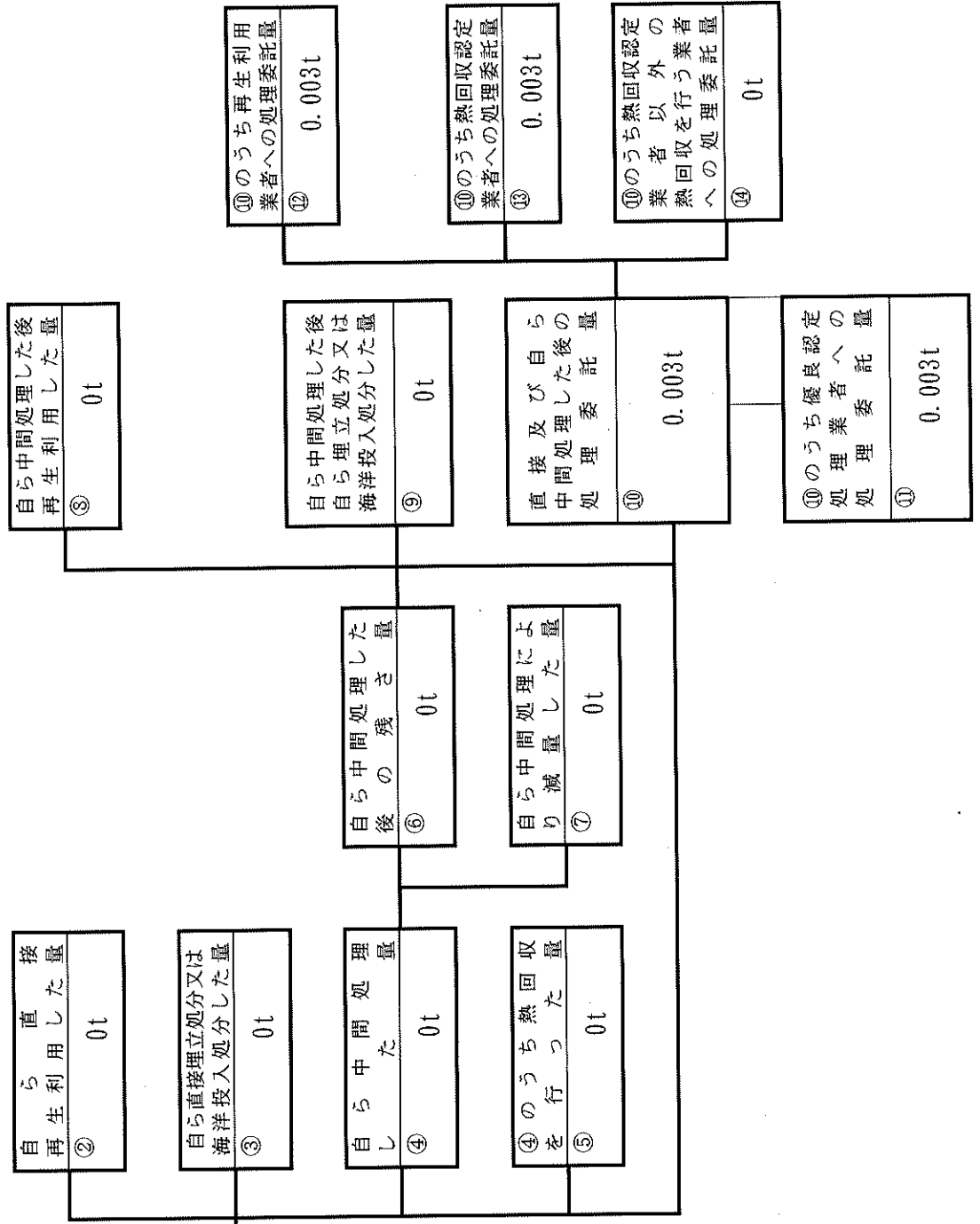
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

引火性廃油

)

有 償 物 量	
不要物等発生量	
排出量	① 0.003t
実績値	
①排出量	0.003t
②+⑤自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0.003t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.003t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.003t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.003t

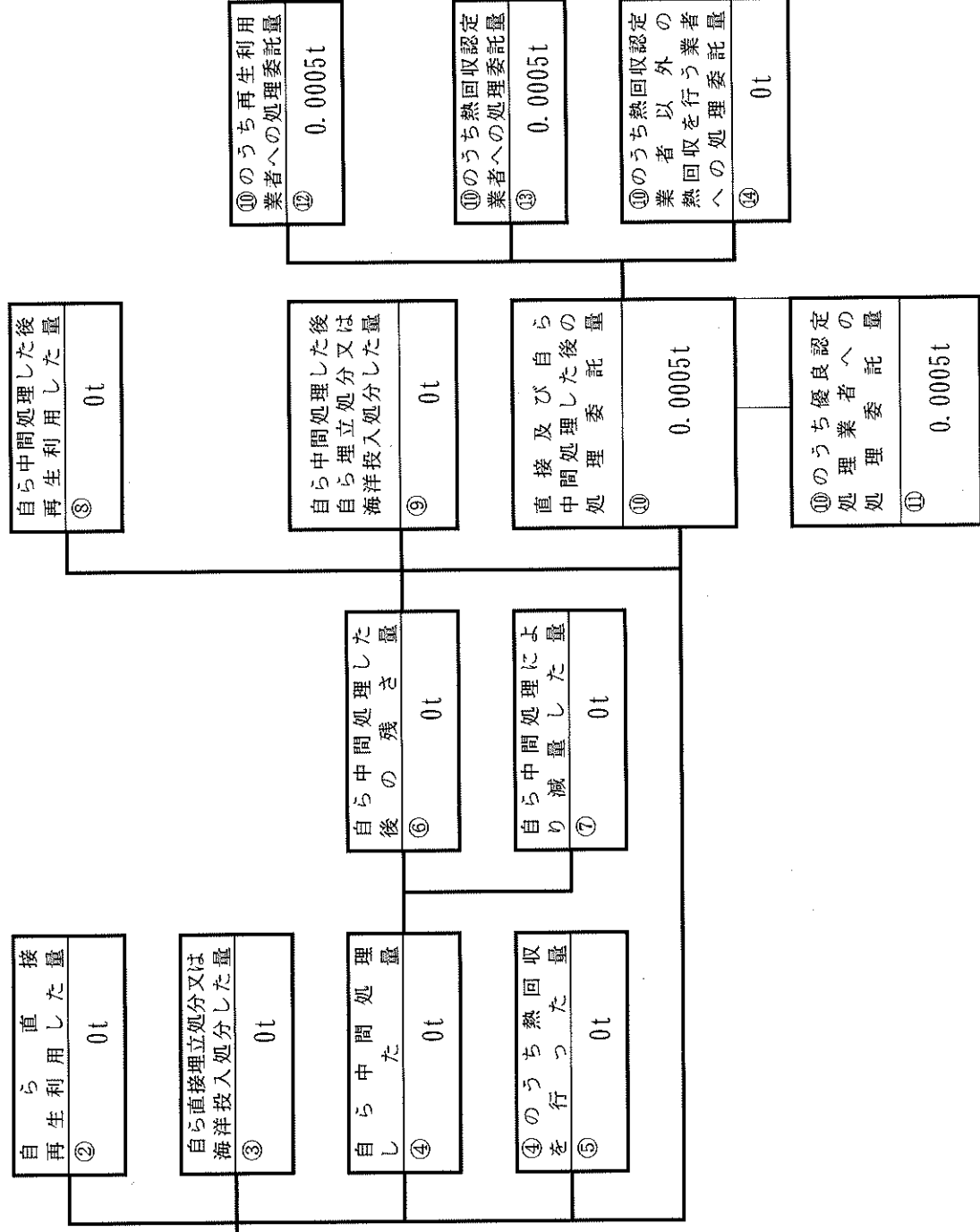
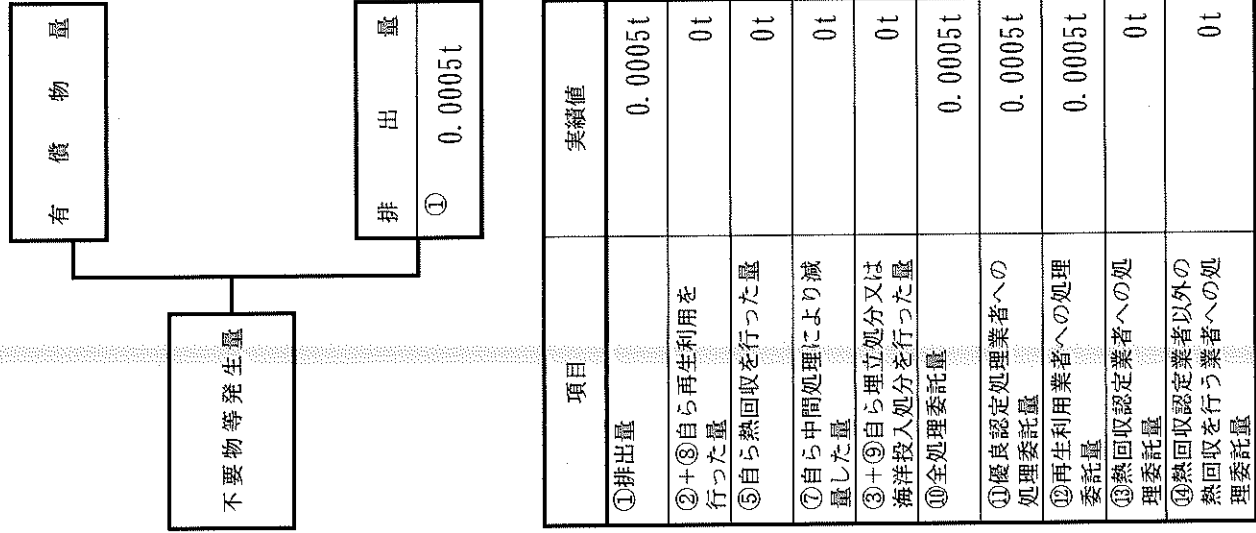


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：

廃酸(有害)

)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。